

農業委員会だより



むらかみ

No. 10

平成29年11月



さんぼく南小学校の稲刈り

写真は村上市立さんぼく南小学校学校田の稲刈りの様子です。

さんぼく南小学校では700㎡の田んぼを借りて5年生がお米を作っています。地域の方々の協力を頂きながら春から大事に育て収穫したお米は、10月に行われた学校の文化祭で販売されました。人気商品であるのですぐに完売しました。

- 発行 新潟県村上市三之町1番1号
村上市農業委員会
広報委員会
- TEL 0254-75-8941 (直通)
- FAX 0254-53-3840
- ホームページアドレス
<http://www.city.murakami.lg.jp>
- メールアドレス
noi@city.murakami.lg.jp

農業委員会の新体制

会長	石山 章
会長職務代理	板垣 栄一
農地調整部会長	池田 千秋
農地調整副部会長	加藤 孝平
農政振興部会長	佐藤 健吉
農政振興副部会長	増田 嘉美
最適化推進委員長	齋藤 裕助
最適化推進副委員長	木村 壽一
広報委員長	中山 和衛
広報副委員長	大野 章

新生農業委員会スタート



村上市農業委員会

会長 石山 章

農業委員会は昭和26年に設置され、本年66年目となります。昨年4月に改正農業委員会法が施行され、委員の選出が選挙から市長農業委員会による選任制に改正されました。

農業委員に加えて新たに農地利用最適化推進委員を選任することになり8月1日に新制度による農業委員20名、推進委員19名でスタートいたしました。

農地を宅地などに変更する農地転用等の業務に加え新たに「農地利用の最適化」が必須業務になり「担い手へ農地の集積・集約」「遊休農地の発生防止と解消」「新規参入の促進」が柱となっています。

国による米の生産数量の配分が平成30年から無くなる等、大きく変わり、農業者の経営判断が更に重要になってまいります。

今後も村上市の農地行政に取り組んで参りますので皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

農業委員の役割

合議体として農業委員会としての意志を決定する。

- 総会に出席して農地の貸借・売買、農地転用許可等を審議、判断する。
- 毎年担当地区内のすべての農地の利用状況を調査する。
- 農地所有者の所在の特定及び所有農地の管理・利用状況、将来の経営意向、後継者の有無に関する調査を行う。
- 農業者等からは農地の権利取得、相続・贈与及び有効利用並びに農業経営等に関する相談に応じる。
- 農地利用最適化推進指針を作成し、指針に基づく活動計画を作成する。
- 農業委員活動を通じて得られた知見を基に関係機関・団体に意見を提出する。
- 右記のために必要な知識を習得するための研修会に参加する。

最適化推進委員の役割

担当地区において現場活動を行う。

- 毎年担当地区内のすべての農地の利用状況を調査する。
- 農地所有者の所在の特定及び所有農地の管理・利用状況、将来の経営意向、後継者の有無に関する調査を行う。
- 農業者等からは農地の権利取得、相続・贈与及び有効利用並びに農業経営等に関する相談に応じる。
- 総会や部会に出席して、農地利用の最適化について意見を述べる。
- 農地利用最適化推進指針の作成に参画し、指針に基づいて現場活動を行う。
- 右記のために必要な知識を習得するための研修会に参加する。



農業委員

荒川地区



農地調整部会
石山 章
(切田)



農政振興部会
村山美恵子
(岩船三日市)



農地調整部会
大野 章
(岩船三日市)



農政振興部会
稲葉 浩之
(山辺里)



農地調整部会
池田 千秋
(日下)

村上地区

神林地区



農地調整部会
遠山 久夫
(宿田)



農政振興部会
増田 嘉美
(牧目)



農政振興部会
板垣 栄一
(桃川)



農政振興部会
齋藤 文夫
(佐々木)



農地調整部会
阿部 正一
(大津)

荒川地区

朝日地区



農地調整部会
中山 和衛
(大須戸)



農政振興部会
本間サヨ子
(布部)



農地調整部会
鈴木いせ子
(中原)



農政振興部会
佐藤 健吉
(関口)



農地調整部会
遠藤 俊樹
(牛屋)

神林地区

山北地区



農政振興部会
菅原 隆雄
(中継)



農政振興部会
斎藤 博
(越沢)



農地調整部会
加藤 孝平
(大毎)



農地調整部会
本間 裕一
(中新保)



農政振興部会
船山 寛
(小川)

朝日地区

農地利用最適化推進委員

荒川地区



農政振興部会
高橋 大亮
(名割)



農地調整部会
佐久間 英夫
(鳥屋)



農政振興部会
近藤 和明
(四日市)



農地調整部会
佐藤 裕介
(鋳物師)



農政振興部会
東海林 善雄
(松山)

村上地区

神林地区



農地調整部会
齋藤 茂芳
(山屋)



農地調整部会
齋藤 裕助
(河内)



農政振興部会
木村 壽一
(七湊)



農政振興部会
齋藤 敏夫
(猿沢)



農政振興部会
寺社 幸一
(坂町)

荒川地区

朝日地区



農地調整部会
飯沼 洋二
(岩沢)



農政振興部会
中山 一幸
(大須戸)



農政振興部会
本間 進二
(布部)



農地調整部会
富樫 潤
(早稲田)



農地調整部会
坂上 光芳
(小口川)

神林地区

山北地区



農政振興部会
本間 文春
(堀ノ内)



農地調整部会
藤原 義正
(府屋)



農地調整部会
中山 栄
(笹平)



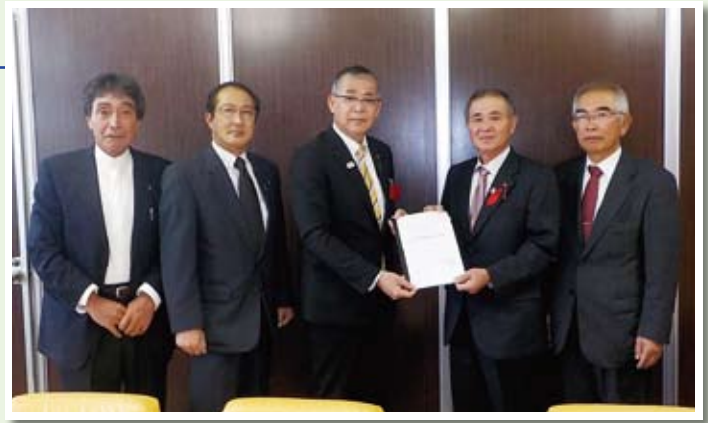
農政振興部会
齋藤 仁
(上野)

朝日地区

村上市への意見書提出

10月10日、市長及び市議会議長に以下の内容で提出しました。

- ・農業委員会の体制確保について
- ・遊休農地対策について
- ・鳥獣害対策について
- ・担い手及び新規就農への支援について



農地パトロール

遊休農地をなくそう

農業委員会では、農地パトロールを実施し、遊休農地の実態把握と発生防止及び解消、農地の違反転用発生防止対策等についても取り組んでおります。

今年には市内各5地区において、8月8日～22日の間に地区の農業委員、農地利用最適化推進委員、関係集落の役員等で調査を行いました。

今後とも優良農地を守るため、農業委員と農地利用最適化推進委員が丸一となって取り組んでまいります。

作況調査

9月4日～14日に各地区のほ場において作況調査を行いました。

去年は天候にも恵まれ豊作となりましたが、今年は冷夏の影響で各地域とも減収となりました。



農業体験



鶴腰保育園



平林小学校



朝日みどり小学校



金屋・保内小学校

相続等によって農地の
権利を取得した時は…

『農業委員会への届出』が必要です！

◆農地法の許可を要せずに以下の理由で農地の権利を取得した者

- ・相続（遺産分割・包括遺贈を含む）
 - ・法人の合併・分割
 - ・時効
- 等



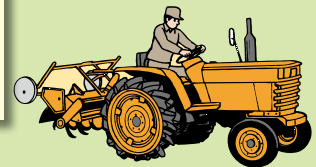
※権利を取得したことを知ったときから、おおむね10ヶ月以内に届出をすることとされています。

『農地の転用には許可』が必要です！

— 農地の無断転用は絶対してはいけません —

●農地を農地以外にする（農地転用）場合は、農地法に基づく許可が必要です。

- 住宅を建てる
 - 資材置場や建設残土捨て場にする
 - 農業用施設を建てる
 - 太陽光発電設備を設置する
- など



●転用の許可方法は2種類あります。

- 農地の所有者自らがその農地を転用する場合（農地法第4条）
- 農地の所有者から農地を買う、または借りて転用する場合（農地法第5条）

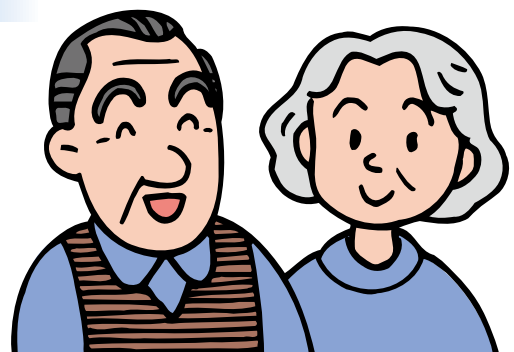


※許可を受けずに転用された農地については、基本的には追認の許可はされませんので、転用を行う前に必ず許可を受けてください。

老後の備えに農業者年金

農業者年金の特徴・メリット

- ・農業者の方なら広く加入できる
 - ・積立方式（確定拠出型）で少子高齢時代に強い
 - ・保険料の額は自由（月額2万円～6万7千円）に決められる
 - ・終身年金で、80歳前になくなられた場合でも80歳までの保証付き
 - ・税制上の優遇措置がある
 - ・一定の要件を満たせば保険料の国庫補助が受けられる
- 詳しくは最寄りのJA・農業委員会へお問い合わせください。



愛する養豚経営をめざして



「大学を卒業し嫁いだ家の稼業が養豚業だったんです。」と話すはなさん。

大学では、犬や猫などのペット、愛玩動物について学んできたため養豚のことは分からないことばかり。

これから少しずつ現場にも入り仕事をしていく段階で日々手探りとのこと。

はなさんの今の仕事は、主に種付けから出産、飼育、出荷までのデータの管理や経理の仕事を行っている。種付けの成功率が良くなっているデータを見ると、とてもうれしくなるそうです。

生き物が相手の仕事なので休みもほとんどなく大変な仕事だと思

スエヒロファーム

相馬 はなさん (25歳)

— 高根 —

っていますが、将来は、家畜もペットのように愛でて飼育していきたいくらいいなと夢も語ってくれました。現在は、一歳の娘さんの育児と仕事を両立していて、子育ても大変。集落内のママ友と集まって情報交換をしながらおしゃべりするのが楽しいと話してくれました。



農業委員会活動報告

平成28年9月～平成29年8月

*毎月 定例総会

報告案件

4条届出

非農地証明

審議案件

3条

4条

5条

基盤強化法

7件

32件

102件

11件

77件

1455件

*年5回 農政振興部会

意見書の審議

農作業労働賃金の審議

作況調査の方針作成

農政懇談会の計画

*年3回 農地調整部会

農地パトロール方針の決定

耕作放棄地の調査対象

大規模転用の審議

*年7回 広報委員会

農業委員会だよりの編集

読んでみませんか？

全国情報はもちろん、県版・地方版のページも充実！
地域の元気で特徴ある明るい話題やイベント情報などの提供に努めています。
☆B3版10～14ページ
☆購読料：月700円（税・送料込）
☆毎週金曜（月4回）発行
お申込みは、農業委員会事務局・農業委員、推進委員へ



ご自宅に
直接送付します

若き担い手

夢に向かい

山辺里 いなば 稲葉 しゅうたろう 宗太郎 さん (22歳)



今回紹介する稲葉さんは、父と一緒に野菜苗の育苗販売を主に水稲3haとユリの切花生産の複合経営を行っています。

この仕事を選んだ理由を聞いたところ「幼いころは父を見ていて漠然と、農業をやろうかな」と思っていて、高校生の時に心の底から「農業がかっこいい」と思ったからだそうです。その後は、農業の専門学校を経て、1年間山形県のユリ農家で研修を経て、今年の4月から父と一緒に農業を始めました。担当は主に野菜苗の育苗作業に従事しており、やりがいについてはと聞いたところ「発芽率を向上させることと、健全な野菜苗をお客様に届けて、喜ばれることが今のやりがいです」と答えてくれました。

また、将来について聞くと、「ユリ花の生産がやりたいので、面積を拡大し、色々な品種を育てていきたい」と力強く語ってくれました。

最後に休日の過ごし方を聞いたら、友達と出かけたり釣りをしたりと活動的で、この秋に友達に誘われて購入したバイクで仲間とツーリングを楽しみたいと笑顔で話してくれました。

夢に向かって今後の活躍を期待したいと思います。



あとがき

農業情勢は、来年には減反廃止という農政の大転換期を迎えます。

そんな折、村上市農業再生協議会から「売れる米づくり」から「売る米づくり」へ転換して産地一体となって取り組む体制が示されました。

農村社会の活性化には、農業者と消費者がしっかりと手を携えてニーズに応えていくことが求められます。

そんな状況の中、農業委員広報として身近な様々な話題を情報提供して参りたいと思います。

今後、温かいご指導とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

広報委員長

広報委員長

中山 和衛

広報副委員長

大野 章

広報委員

遠藤 俊樹

斎藤 博

高橋 大亮